

ちばし チェンジ 宣言！

現状

新型コロナウイルス感染拡大防止

- ・ 密集状態での接触の抑制 → 不慣れなテレワークの実施、社会経済活動への制約、公共手続き窓口利用への不安
- ・ 一斉臨時休校 → 学びの遅れの懸念、

方向性

人々の行動が制限される中でも、社会経済活動を維持するための環境整備が必要。
この危機を、社会を変えるチャンスとする。

- 市役所が変わる！ ➡ 新旧様々なツールを活用して、利便性向上と市役所機能の最大化
- 教育が変わる！ ➡ 時間と場所を選ばない学習環境の整備
- 企業が変わる！ ➡ 生産性の向上による強靱な地域経済の構築

市役所が変わる！

市役所が変わる！① ～行かなくていい、待たなくていい～

- ・ 郵送、オンラインの徹底活用！
- ・ 事前申請のファストレーン※1、混雑状況のネット配信
- ・ 行政手続きの原則オンライン化

市役所が変わる！② ～やり取りは遠隔（リモート）で～

- ・ 時差出勤やテレワークのさらなる促進
- ・ 庁内会議は原則遠隔実施、説明会等の動画配信

市役所が変わる！③ ～市保有情報は原則公開～

- ・ オープンデータ活用ルール^の作成やデータの原則公開に向けた検討
- ・ データ連携基盤を構築し、オープンデータの利活用促進

※1インターネット事前申請時の、優先受付窓口

教育が変わる！

- ・ ドリルパーク※2の本格導入、学習の進捗が把握可能に！
- ・ 今回のような状況でも「学ぶ環境を保証」
⇒その環境を活用して、個別学習の充実
- ・ 保護者との連絡のデジタル化を検討

※2インターネットを利用した家庭学習補助コンテンツ

企業が変わる！

- ・ テレワーク、IoTなどで生産性向上。「遠隔」を常識に！
(生産性向上へ、“千葉市型”ハンズオン支援の強化)

⇒通勤時間・移動時間を「生産時間」に

宣言

今こそ、1人1人、みんなが意識と行動の変革を！

ちばしチェンジ宣言！ 手続原則オンライン化

現状

手続を紙ベースでやっていることで…、

- ・手続のために来庁する必要がある。
- ・何枚もの申請書に、住所などを何回か記載する必要がある。
- ・記載誤りがあると、一から作成し直す場合もある。

行政手続のオンライン化の主な課題は…、

- ・オンラインで本人確認できる手法が必要
- ・オンラインで支払まで完結できる環境が必要
- ・面談等が必要である手続への対応が必要

CHANGE



本人確認が可能な行政手続もオンライン化！

⇒R3.4にマイナンバーカードの電子証明書を活用（公的個人認証）した本人確認を導入

手数料等の支払いもオンライン化！

⇒R3.4に電子納付に必要な環境を整備し、自宅から支払まで完結できる仕組みを導入

面談等の必要性もイチから見直し！

⇒手続のあり方から見直し、オンライン面談等を検討（並行して国等へ改善要望）

行かなくていい市役所を目指す！

オンライン化する手続例

婚姻届などの戸籍関係、子ども医療費などの子育て関係の手続きをはじめ、イベントの申込等まで幅広く対象とする予定。詳細は年末までに徹底した調査・調整を行い、原則オンライン化に向けた精査を行う。

○オンライン化等の効果を最大限に高めるため、カードの取得を今まで以上に推進！

- ・次に備えて、マイナンバーカードの取得促進を進める。
→今でもコンビニで証明書の取得ができるほか、プレミアムポイントであるマイナポイントの予約や、保険証としての機能などが追加される予定。
- ・令和4年度末までに市民の90%がカードを所持することを目指す。

